

第 58 回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和 2 年度)

出品区分	1 企業の部 ・ 2 一般の部		受付番号	61
ふりがな	かおにんしょうきのうつきましにんぐせんたえぬしーそうさばん			
作品の名称	顔認証機能付きマシニングセンタ NC 操作盤			
ふりがな	きたむらきかむかぶしがいしゃ	ふりがな	きたむら あきひろ	
会社名	キタムラ機械株式会社	発明者名	北村 彰浩 他 2 名	
出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願	出願番号	特許・実用・意匠 2017-41810	2017 年 3 月 6 日
	<input checked="" type="checkbox"/> 出願済	公開番号	特許公開 2018-147236	2018 年 9 月 20 日
		登録番号	特許・実用・意匠 第 6713688 号	2020 年 6 月 8 日
特徴と要点 (必ずご記入下さい)				
<p>本発明は、簡便で確実に作業者を識別して良好な操作制限が行える個人認証システムを備えたマシニングセンタ NC 操作盤を提供するものである。機械本体の操作盤に CCD カメラを内蔵し、機械を操作する作業者の顔画像を顔認証システムにより取得しコントローラ内に登録することが可能になり、作業者ごとに異なる操作制限を設定することができる。</p> <p>マシニングセンタは数値制御を用いて様々な加工作業が自動運転により実施されるが、利便性が上がるにつれて操作が複雑化してきており、作業者の作業経験や熟練度の違いにより、操作を制限すべき機能や作業の種類が異なる場面が多くある。安全性やセキュリティの観点から、作業者ごとに操作可能な範囲を制限することが必要になる。</p> <p>従来から物理的なキースイッチや IC タグ等の外部記憶媒体を用いることにより作業者ごとの作業を設定しているが、紛失や盗難、不正利用等のリスクがある。またパスワードなどの個人識別システムは入力作業が必要となり、煩雑であると同時に情報が入手できれば他人であっても使用可能なため安全な操作制限が行えるとは言えなかった。本発明による顔認証の利用ではスイッチなどの物理的なものや入力作業を不要にし、作業者が操作部の前に立つだけで、安全な操作制限を可能にすることができる。</p> <p>管理者は、各々の作業者に対して実行可能な作業内容をあらかじめ設定することができ、作業者が操作盤の正面に立つだけで自動的に識別され、決められた作業項目のみ実行できるように作業を制限することが可能になる。</p>				

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

図 1 顔認証機能付きマシニングセンタ NC 操作盤 構成図

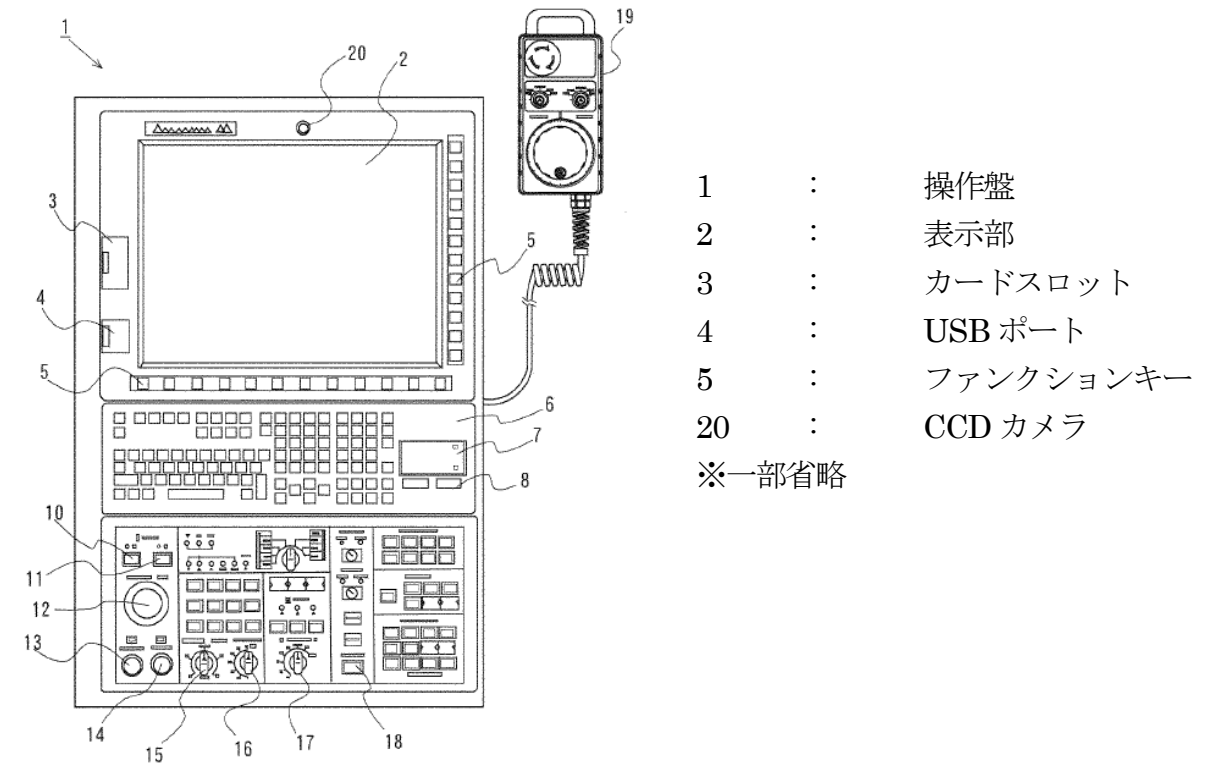
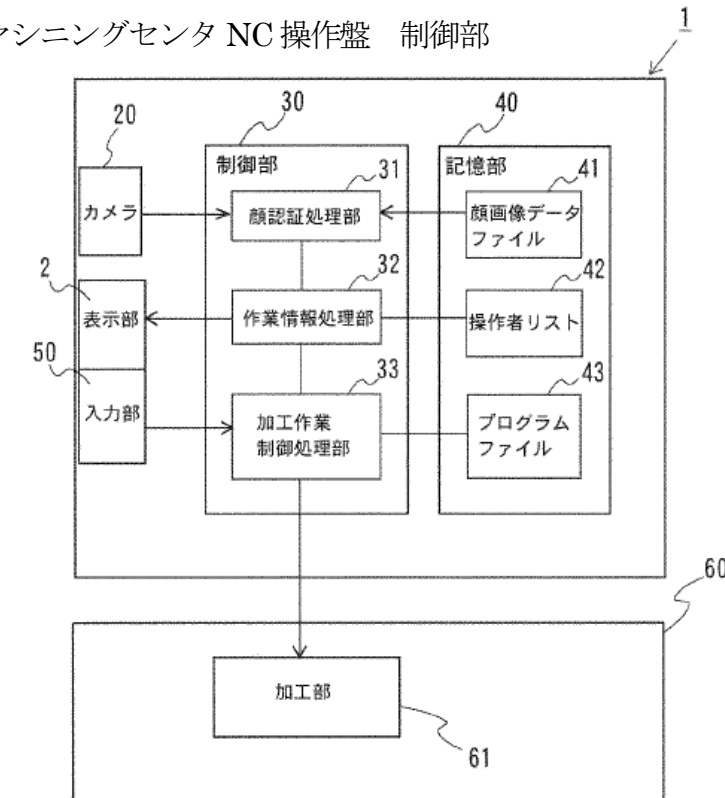


図 2 顔認証機能付きマシニングセンタ NC 操作盤 制御部



【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のもの(方法)に比し、どこを(何を)どのように工夫したか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
- 改良工夫箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に、令和2年9月18日(金)までに事務局へ提出して下さい。